



# 東京岐阜県人会 平成22年度 総会・懇親会開催さる

## Index

県知事・県人会会長のあいさつ……………	3	会員投稿……………	11
総会・懇親会報告……………	4	御縁ということ……………	11
岐阜県人会新役員名簿(平成22年度)……………	7	マスターズ漕手の思い……………	12
青年部活動報告……………	8	「故郷は遠きにありて思う」だけのものか?……………	13
東京飛騨会新春互礼会への参加……………	8	『人形浄瑠璃文楽』を楽しむ～わたし流～……………	14
東京メトロスタンプラリー～岐阜県宝探しセカイカメラクイズラリー～……………	8	岐阜県では今……………	18
委員会活動報告……………	8	岐阜県観光イベントカレンダー……………	19
フェロシップ委員会……………	8	東京ぎふ清流マップ……………	20
親睦委員会……………	9	岐阜県ゆかりの店……………	21
広報委員会……………	9	平成21年度決算及び平成22年度予算……………	22
県人会 夏のイベントのお知らせ……………	10	お知らせ……………	23



去る11月12日（金）午後6時から千代田区平河町の都市センターホテルにおいて、東京岐阜県人会平成22年度総会・懇親会が開催されました。総会は、唐澤理事の司会で始まり、まず加藤会長からここ1年間の県人会の事業運営に対する会員各位のご協力への感謝の言葉がありました。特に夏のイベントも第1回に引き続き大変好評裡に了

えることができ、県



あいさつする加藤会長

午後6時半からは懇親会に移り、加藤会長の挨拶の後、古田知事から今年の県政の概要をお話しいただきました。いろいろ大きなイベントがある中で、両陛下にご列席いただいた6月の「全国豊かな海づくり大会」を海のな



古田知事

大会」を海のな



小林幹事長

より提出議案の説明がなされ、慎重審議の結果、満場一致で全ての案件が原案通り可決、承認されました。

人会の新しい魅力づくりの一環として交流と懇親の機会が定着したこと、ホームページがリニューアルされたこと、退会者が年間80名にのぼる中で皆様のご協力を得て会員数が維持できたこと等の活動報告を交えた挨拶があり、「110年に及ぶ伝統ある東京岐阜県人会を更に発展させていきたい」と力強い決意表明がありました。

続いて、小林幹事長



司会：唐沢理事

ドキュメンタリー取材スタッフを引き連れて大垣出身の歌手 杉山勇太郎さんが飛び入り参加したり、平成24年に開催される「ミナモ」が花を添えてくれたりしました。



ミナモ



杉山勇太郎さん



ことの意義などについて熱弁を振るわれたほか、東濃地歌舞伎の公演、県から2名の新たな人間国宝の選出など我々県出身者なら身ぶるいして喜ぶ話題の紹介のほか、故郷の様子が目につかぶような小さなエピソードも交えたご挨拶を頂きました。懇親会には、会員約200名の他岐阜県選出の国會議員、地元市町村長など30名を越える来賓の方にお越し頂きました。

宴は、安田県議会議長の乾杯で始まり、NHKの



地酒と郷土料理



飛騨牛のローストビーフ

クライマックスは、今春銀座に進出した高級飛騨牛専門店「馬喰一代」の食事券一万円分が当たる全員参加のじゃんけん大会。皆童心にかえってじゃんけんになんて夢中になって楽しんでいました。

今年もホテルの食事に加え、飛騨牛のローストビーフ（「馬喰一代」提供）・みたらし団子・五平餅・鮎の甘露煮など郷土色豊かな料理と地酒が振る舞われ、県産品や地酒の販売コーナーも盛況で、都会のご真ん中で大いに「ふるさと岐阜」を楽しんでいただけたものと確信しています。



町田市の郡上踊り愛好会の皆さん

最後は、昨年に引き続き大郡上踊り大会。今年も、東京町田の郡上踊り愛好家の皆さんの協力を得て、晩秋の踊り納めを楽しみました。午後8時半過ぎ、立川副会長の中締めで散会となり、地元市町村からご寄贈頂いた富有柿などをお土産に名残惜しいなか、皆家路につきました。

〈日付〉 2011年11月11日（金）  
 〈場所〉 都市センターホテル

次回の総会のお知らせ

※場所は変更になる場合があります。



若者も楽しんでいます



名産品コーナー